

学生優秀口頭発表賞

P14-08-1300 野村高志（京都大院・エネ科）

『セルロース炭化過程の紫外線顕微鏡観察』

野村高志, 高田昌嗣, 河本晴雄, 坂志朗

①スライド作成で工夫した点

今回の発表は顕微鏡写真が多いため、どの写真が何を示しているかを一目でわかるようにする必要があった。そこで、それぞれの写真の条件を示す既述の色を変化させることにより分かりやすくした。また、データと関連させやすいように配置や大きさを調整した。

②スピーチで工夫した点

前述したように写真が多いため、発表の際にはポインターでどの写真のどの部分について言及しているかを示すことが重要であった。また、聴衆のほうを向いてしっかりとスピーチすることにも注意を払った。

③練習方法等

発表練習は学会の1-2週間前から始めている。練習の時には通しでやるよりも1つのスライドを反復練習することが効果的であると考えている。また、学会などには積極的に参加し、場数を踏むことも大切だと思う。